

第3期宮城県がん対策推進計画の実績について(R2～R4)

資料 2

| 第3期宮城県がん対策推進計画 | | | | | |
|----------------------------|---|--------------------|--|--|---|
| 全体目標 | 分野別施策 | 事業名 | 令和2年度事業実績 | 令和3年度事業実績 | 令和4年度事業実績（見込）（R5.2月末現在） |
| 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 | (1)がんの1次予防 | みやぎ21健康プラン(健康増進計画) | 「みやぎ21健康プラン(健康増進計画)」に基づく各種生活習慣病対策事業、イベントを実施した。 | ・「みやぎ21健康プラン(健康増進計画)」に基づく各種生活習慣病対策事業、イベントを実施した。 ●循環器病に関わる生活習慣の改善や医療提供体制の整備等を推進するため、循環器病対策推進計画を策定した。(策定のための懇話会3回開催)。 | ・「みやぎ21健康プラン(健康増進計画)」に基づく各種生活習慣病対策事業、イベントを実施。 ●県民の食生活、運動等に関する実態や課題を把握し、健康づくり施策へ反映させるため、県民健康・栄養調査を実施(調査対象延べ5,800人を予定)。 |
| | | 予防等に関する事業 | ・B型、C型肝炎無料検査及びウイルス性肝疾患療養者への定期検査費用助成等を実施した。 ・検査実績：3,402件 | ・B型、C型肝炎無料検査及びウイルス性肝疾患療養者への定期検査費用助成等を実施した。 ・検査実績：3,564件 ・ヒトパピローマウイルス感染症に係る予防接種については、国の令和4年4月からの積極的勧奨再開の方針を踏まえ、管内市町村に対して、対象者への個別送付による速やかな情報提供を検討するよう依頼した。 | B型、C型肝炎無料検査及びウイルス性肝疾患療養者への定期検査費用助成等を実施。 |
| | | 地域保健がん対策推進事業 | ・保健所毎に市町村がん対策担当者対象に、がんに関するデータ活用研修会を開催した。(二次医療圏2カ所) ・コミュニティラジオ等を通じ健康増進、がん検診の受診を啓発した。 | ・保健所毎に市町村がん対策担当者対象に、がんに関するデータ活用研修会を開催した。(二次医療圏1カ所) ・コミュニティラジオ等を通じ健康増進、がん検診の受診を啓発した。 | ・保健所毎に市町村がん対策担当者を対象にがん検診等の研修や情報交換等を開催。 ・コミュニティラジオ等を通じ、がんやがん検診にかかる啓発を実施。 |
| | (2)がんの早期発見、がん検診(2次予防) | がん検診受診促進事業 | 市町村が実施するがん検診未受診者に対する受診勧奨に係る費用助成(市町村振興総合補助金)(16市町村に補助) 前年度の評価及び指導事項を市町村へ文書にて周知。生活習慣病検診管理指導協議会の各がん部会にて検診の評価、指導事項を協議した。 「がん啓発とがん検診の受診率向上に向けた包括協定」を締結している企業及び各種関係団体と連携しての受診啓発(ハンドブック・リーフレット・冊子の配布等)等を実施した。 ※中外製薬(ハンドブック・リーフレット)・オリンパス(冊子) | 市町村が実施するがん検診未受診者に対する受診勧奨に係る費用助成(市町村振興総合補助金)(16市町村に補助) 前年度の評価及び指導事項を市町村へ文書にて周知。 「がん啓発とがん検診の受診率向上に向けた包括協定」を締結している企業及び各種関係団体と連携しての受診啓発(動画・リーフレットの配布等)等を実施した。 ※中外製薬(動画),オリンパス・アフラック(リーフレット) | 市町村が実施するがん検診未受診者に対する受診勧奨に係る費用助成(市町村振興総合補助金)(16市町村に補助) 前年度の評価及び指導事項を市町村へ文書にて周知。 「がん啓発とがん検診の受診率向上に向けた包括協定」を締結している18者及び各種関係団体と連携しての受診啓発(パンフレット配布等) |
| | | | 9月の「がん征圧月間」に、ポスターの配付やパネル展を行い、がんに対する正しい知識とがん検診受診の啓発を行った。 | 9月の「がん征圧月間」に、ポスターの配付やパネル展を行い、がんに対する正しい知識とがん検診受診の啓発を行った。 | 9月の「がん征圧月間」に、講演会やポスターの配付やパネル展を行い、がんに対する正しい知識とがん検診受診の啓発を実施。 |
| | | | | | |
| 2 患者本位のがん医療の実現 | (1)がんゲノム医療 | | (公社)宮城県医師会へ委託事業。東北大学の協力を得て、医療関係者に最新のがんゲノム医療の知識を提供する研修会を開催した。令和2年度にて事業終了 | | |
| | (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、科学的根拠を有する免疫療法及び支持療法の充実とチーム医療の推進 | がん診療機能強化事業 | がん診療連携拠点病院4カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く) |
| | (3)がんのリハビリテーション | | ・がん診療連携拠点病院4カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) |
| | (4)希少がん、難治性がん対策 | | がん診療連携拠点病院4カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) |
| | (5)小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん対策 | 生殖機能温存治療費等助成事業 | ●AYA世代のがん患者に対して、生殖機能温存治療費助成事業を県独自で開始した。(19件助成) | AYA世代のがん患者に対して、生殖機能温存治療費助成事業を、国事業化に伴い、上限額の引き上げなど補助メニューを充実させた。(20件助成) | AYA世代のがん患者に対して、生殖機能温存治療費を助成するとともに、温存後生殖補助医療費も新たに助成。(25件助成) |
| | (6)病理診断 | がん診療機能強化事業 | がん診療連携拠点病院4カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し、がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) |
| | (7)がん登録 | がん登録事業 | (地独)宮城県立病院機構へ宮城県がん登録事業を委任して実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、病院の実務者を対象とした研修会は開催できなかったが、手引き等を作成した。 | (地独)宮城県立病院機構へ宮城県がん登録事業を委任して実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、病院の実務者を対象とした研修会は開催できなかったが、手引き等を作成した。 | (地独)宮城県立病院機構へ宮城県がん登録事業を委任 |
| がん登録情報利用等審査部会を2回開催した(4件審査) | | | がん登録情報利用等審査部会を4回開催した(12件審査) | がん登録等推進に関する協議、がん登録情報利用に関する審査(7件審査) | |

| 第3期宮城県がん対策推進計画 | | | | | | |
|---------------------------|---|---|--|---|---|--|
| 全体目標 | 分野別施策 | 事業名 | 令和2年度事業実績 | 令和3年度事業実績 | 令和4年度事業実績（見込）（R5.2月末現在） | |
| 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 | (1)がんと診断された時からの緩和ケアの推進 | 緩和ケア推進事業 | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会を開催した。 (5病院が開催 修了者:医師 83人, 医師以外 3人) | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会を開催した。 (8病院が開催 修了者:医師 106人, 医師以外 9人) | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会の実施 (8病院が開催 修了者:医師 151人, 医師以外 27人) | |
| | (2)相談支援, 情報提供 | 地域統括相談支援センター事業 | ・がん患者や家族等の相談に対応。相談件数 345件 ・がん患者・サロンネットワークみやぎの運営支援 ・新型コロナウイルス感染症の影響により,がんピアサポーター養成研修の中止。 | ・がん患者や家族等の相談に対応。相談件数353件 ・がん患者・サロンネットワークみやぎの運営支援, 県内のがん患者・サロンの活動紹介をまとめ, 関係機関等に配布した。 ・がんピアサポーター養成研修をWEBにて開催(8名出席) | ・がん患者や家族等の相談に対応。 ・がん患者・サロンネットワークみやぎの運営支援。 ・がんピアサポーター養成研修の開催 | |
| | | がん診療機能強化事業(再掲) | ・拠点病院がん相談支援センターの相談件数 6,309件 ・拠点病院以外の相談窓口の相談件数 1,500件 | ・拠点病院がん相談支援センターの相談件数 6,793件 ・拠点病院以外の相談窓口の相談件数 1,196件 | 拠点病院等のがん相談窓口による相談対応 | |
| | (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援 | 緩和ケア推進事業(再掲) がん診療機能強化事業(再掲) | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会を開催した。 (5病院が開催 修了者:医師 83人, 医師以外 3人) がん診療連携拠点病院4カ所へ補助金を交付し, がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会を開催した。 (8病院が開催 修了者:医師 106人, 医師以外 9人) がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し, がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | 指針に沿った宮城県緩和ケア研修会の実施 (8病院が開催 修了者:医師 151人, 医師以外 27人) がん診療連携拠点病院5カ所へ補助金を交付し, がん医療の均てん化・質を確保(国から直接補助を受ける3病院を除く)(再掲) | |
| | (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題(サバイバースHIP支援) | アピランス支援事業 | 就労等社会参加促進のためにがん患者に医療用ウィッグ購入費用を助成する市町村に対して補助。 (実施市町村数 R2年度:31市町村) | 就労等社会参加促進のためにがん患者に医療用ウィッグ購入費用を助成する市町村に対して補助。 (実施市町村数 R3年度:32市町村) | 就労等社会参加促進のためにがん患者に医療用ウィッグ購入費用を助成する市町村に対して補助。 | |
| | (5)ライフステージに応じたがん対策 | 成人診療科と連携した支援体制の推進に関する事業 | 相談件数(仙台市含む):2,169(延べ) | ・相談件数(仙台市含む):1,180(延べ) ・小児慢性特定疾病医療講演会において, 移行期医療支援をテーマに開催(1回) | ・小児慢性特定疾病児童等やその家族等からの療養上, 日常生活上での悩みや不安などに対する相談・支援を実施。 ・小児慢性特定疾病医療講演会において, 移行期医療支援をテーマに開催(2回) | |
| | | 療養中における学習支援環境の整備に関する事業 | 長期入院児童へ院内学級での指導 入院生徒に対する教育保障体制整備事業の実施 | 長期入院児童へ院内学級での指導 ・入院生徒に対する教育保障体制整備事業の実施 ・病気療養中等の生徒に対する, ICTを活用した教育支援 | 長期入院児童へ院内学級での指導 入院生徒に対する教育保障体制整備事業の実施 | |
| | 4 これらを支える基盤の整備 | (1)がん研究 | 生殖機能温存治療費等助成事業 | ●AYA世代のがん患者に対して, 生殖機能温存治療費助成事業を県独自で開始した。(19件助成)(再掲) | AYA世代のがん患者に対して, 生殖機能温存治療費助成事業を, 国事業化に伴い, 上限額の引き上げなど補助メニューを充実させた。(20件助成)(再掲) | AYA世代のがん患者に対して, 生殖機能温存治療費を助成するとともに, 温存後生殖補助医療費も新たに助成。(25件助成)(再掲) |
| | | | がん登録事業 | がん登録情報利用等審査部会を2回開催した (4件審査)(再掲) | がん登録情報利用等審査部会を4回開催した (12件審査)(再掲) | がん登録等推進に関する協議, がん登録情報利用に関する審査(7件審査)(再掲) |
| | | (2)人材育成 | 認定看護師養成等に関する事業 | 認定看護師養成課程へ職員を派遣する病院への補助を行った。(4機関4人) | 認定看護師養成課程へ職員を派遣する病院への補助を行った。(9機関12人) | 認定看護師養成課程へ職員を派遣する病院への補助を実施 |
| 生活習慣病検診従事者指導講習会 | | | がん検診に従事する医師の資質向上を図るため, (公社)宮城県医師会に委託し研修を実施した。 | がん検診に従事する医師の資質向上を図るため, (公社)宮城県医師会に委託し研修を実施した。 | がん検診に従事する医師の資質向上を図るため, (公社)宮城県医師会に委託し研修を実施。 | |
| がん検診受診等促進・管理事業(がん検診啓発事業等) | | | マンモグラフィ読影講習会への協力を行った。 | マンモグラフィ読影講習会への協力を行った。 | マンモグラフィ読影講習会への協力。 | |
| (3)がん教育, がんに関する知識の普及啓発 | | 医療従事者養成事業 | (公社)宮城県医師会に委託し, 患者にとって身近な地域のかかりつけ医やコメディカルを対象に, 最新のがん医療の知識を提供する養成研修を実施した。 | | | |
| | | がん検診受診等促進・管理事業(がん検診啓発事業等) | (公財)宮城県対がん協会に委託し, 中学生, 若年期女性に対するがんの正しい情報を提供する健康教育を出前講座方式で行った。(モデル中学校7校, 女子大学等4校で実施) | (公財)宮城県対がん協会に委託し, 高校生, 若年期女性に対するがんの正しい情報を提供する健康教育を出前講座方式で行った。(モデル高校7校, 女子大学等5校で実施) | (公財)宮城県対がん協会に委託し, 若年期女性等に対するがんの正しい情報を提供する健康教育を出前講座方式で実施。 | |
| 地域保健がん対策推進事業 | 県の保健所が行う出前講座は新型コロナウイルス感染拡大により中止。地元新聞や広報誌やコミュニティラジオ局等に依頼し, がん検診の受診勧奨や健康づくりの広報を行った。 | 県の保健所が行う出前講座は新型コロナウイルス感染拡大により中止。地元新聞や広報誌やコミュニティラジオ局等に依頼し, がん検診の受診勧奨や健康づくりの広報を行った。 | 県の5保健所が, 管内の事業所や学校からの求めに応じ, がんに関する健康教育を出前講座方式で実施。 | | | |